

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成26年7月14日

【四半期会計期間】 第67期第1四半期（自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日）

【会社名】 株式会社ラピーヌ

【英訳名】 L A P I N E C O . , L T D .

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 市川 雅邦

【本店の所在の場所】 大阪市北区天満一丁目5番7号

【電話番号】 (06) 6358 - 2251 (代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 新野 孝弘

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区天満一丁目5番7号

【電話番号】 (06) 6358 - 2251 (代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 新野 孝弘

【縦覧に供する場所】 株式会社ラピーヌ 東京店  
（東京都品川区西五反田七丁目22番17号）  
株式会社東京証券取引所  
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第1四半期連結 累計期間	第67期 第1四半期連結 累計期間	第66期
会計期間	自平成25年 3月1日 至平成25年 5月31日	自平成26年 3月1日 至平成26年 5月31日	自平成25年 3月1日 至平成26年 2月28日
売上高 (千円)	2,959,980	2,928,536	11,471,199
経常利益 (千円)	215,542	232,656	140,537
四半期(当期)純利益 (千円)	232,971	214,865	148,639
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	285,113	209,577	178,176
純資産額 (千円)	7,546,338	7,609,256	7,446,410
総資産額 (千円)	12,037,624	12,283,498	11,723,537
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	9.80	9.23	6.35
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	9.74	9.14	6.29
自己資本比率 (%)	62.6	61.8	63.4

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移は記載していません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社2社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済環境は、デフレ脱却と持続的経済成長に向けた政府による経済対策、日銀による金融政策の効果もあり、緩やかながらも景気回復局面にありました。一方、本年4月1日からの消費税率引上げ前の駆け込み需要とその後の反動減の影響などにより、景気の先行き見通しは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属するアパレル業界におきましても、消費を左右する家計の可処分所得回復の遅れから消費者の価格に対する慎重な意識と節約志向が続き、加えて原材料価格の高騰や電力コストの上昇などから、当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しいものと認識しております。

このような状況のもと当社グループは、商品企画・生産・販売にわたってきめ細かい事業活動を行い、収益の確保に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は29億28百万円（前年同四半期比1.1%減）となり、損益面におきましては、営業利益は2億35百万円（前年同四半期比10.5%増）、経常利益は2億32百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。また、四半期純利益は前年同四半期に計上した投資有価証券売却益の影響がなくなったことから、2億14百万円（前年同四半期比7.8%減）となりました。

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。

#### <卸売事業>

事業本部、事業部単位の利益確保策、在庫責任体制を推進するとともに、小売店頭重視の販売促進に注力し、市場競争力確保に努める一方、不採算取引の見直しを図ってまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は23億3百万円（前年同四半期比3.8%減）となりましたものの、営業利益は2億42百万円（前年同四半期比18.7%増）となりました。

#### <小売事業>

当第1四半期連結累計期間中に、当社の直営小売店1店と子会社の株式会社ベルラピカの直営小売店2店を出店、同1店を退店し、同期間末の運営店舗数は合計で43店となりました。

店舗特性に合わせた商品品揃え技術の向上や販売促進策実行などに取り組んでまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は6億23百万円（前年同四半期比10.0%増）となりましたものの、新規出店費用増等により、営業損失2百万円（前年同四半期は13百万円の利益）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて5億59百万円増加し、122億83百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加4億72百万円、商品及び製品の増加1億59百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて3億97百万円増加し、46億74百万円となりました。これは主に長期借入金金の増加3億77百万円によるものです。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億62百万円増加し、76億9百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上により、利益剰余金が1億68百万円増加したことによるものです。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	79,800,000
計	79,800,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年7月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	27,670,642	27,670,642	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	27,670,642	27,670,642	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年3月1日～ 平成26年5月31日	-	27,670	-	4,354,021	-	2,002,723

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年2月28日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,401,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 23,002,000	23,002	-
単元未満株式	普通株式 267,642	-	-
発行済株式総数	27,670,642	-	-
総株主の議決権	-	23,002	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式465株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ラピーヌ	大阪市北区天満一丁目 5番7号	4,401,000	-	4,401,000	15.90
計	-	4,401,000	-	4,401,000	15.90

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,261,729	1,734,251
受取手形及び売掛金	1,402,564	1,437,581
商品及び製品	2,165,505	2,325,416
仕掛品	266,930	141,417
原材料及び貯蔵品	58,653	86,682
繰延税金資産	180,417	186,366
その他	139,489	136,609
貸倒引当金	2,380	2,400
流動資産合計	5,472,911	6,045,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,406,397	1,390,896
機械装置及び運搬具(純額)	26,246	24,683
土地	3,341,243	3,341,243
その他(純額)	95,618	92,440
有形固定資産合計	4,869,505	4,849,262
無形固定資産		
その他	23,374	22,785
無形固定資産合計	23,374	22,785
投資その他の資産		
投資有価証券	571,834	571,586
差入保証金	700,246	709,511
その他	169,262	167,784
貸倒引当金	83,597	83,357
投資その他の資産合計	1,357,745	1,365,525
固定資産合計	6,250,625	6,237,574
資産合計	11,723,537	12,283,498

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	835,740	755,972
1年内返済予定の長期借入金	561,084	671,084
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払金	448,388	440,319
未払費用	42,373	42,862
未払法人税等	60,946	36,573
賞与引当金	-	65,412
返品調整引当金	91,500	86,500
ポイント引当金	18,564	19,338
資産除去債務	3,230	2,250
その他	78,940	156,470
流動負債合計	2,200,768	2,336,783
固定負債		
長期借入金	1,704,890	1,972,119
退職給付引当金	182,821	170,544
資産除去債務	65,634	67,884
その他	123,012	126,910
固定負債合計	2,076,358	2,337,458
負債合計	4,277,126	4,674,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,354,021	4,354,021
資本剰余金	2,021,378	2,021,378
利益剰余金	1,456,166	1,624,493
自己株式	537,338	537,531
株主資本合計	7,294,228	7,462,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	138,018	131,946
繰延ヘッジ損益	2,091	1,308
その他の包括利益累計額合計	135,926	130,638
新株予約権	16,256	16,256
純資産合計	7,446,410	7,609,256
負債純資産合計	11,723,537	12,283,498



## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	2,959,980	2,928,536
売上原価	1,518,318	1,450,007
売上総利益	1,441,662	1,478,529
販売費及び一般管理費	1,228,299	1,242,761
営業利益	213,362	235,768
営業外収益		
受取利息	195	591
受取配当金	1,316	1,311
為替差益	11,102	1,253
その他	5,385	6,497
営業外収益合計	17,999	9,655
営業外費用		
支払利息	10,990	10,816
その他	4,829	1,951
営業外費用合計	15,819	12,767
経常利益	215,542	232,656
特別利益		
投資有価証券売却益	30,695	-
事業所閉鎖損失戻入額	-	2,465
特別利益合計	30,695	2,465
特別損失		
固定資産除売却損	67	0
事業所閉鎖損失	1,457	-
特別損失合計	1,524	0
税金等調整前四半期純利益	244,712	235,121
法人税、住民税及び事業税	28,606	26,576
法人税等調整額	16,865	6,320
法人税等合計	11,741	20,255
少数株主損益調整前四半期純利益	232,971	214,865
四半期純利益	232,971	214,865

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	232,971	214,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,646	6,071
繰延ヘッジ損益	2,496	783
その他の包括利益合計	52,142	5,288
四半期包括利益	285,113	209,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285,113	209,577
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

コミットメントライン契約

当社は、資金需要に対する機動性と安全性の確保及び資金効率向上を図ることを目的に、取引銀行とシンジケーション方式によるコミットメントライン契約を締結しておりますが、当該契約には一定の財務制限条項が付されております。

なお、この契約による当第1四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
コミットメントラインの総額	2,000,000千円	2,000,000千円
借入実行残高	-	-
差引額	2,000,000千円	2,000,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
減価償却費	37,074千円	38,639千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月29日 定時株主総会	普通株式	49,549	2.00	平成25年2月28日	平成25年5月30日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年4月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得などにより、自己株式は当第1四半期連結会計期間において139,334千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において536,685千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月29日 定時株主総会	普通株式	46,538	2.00	平成26年2月28日	平成26年5月30日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売事業	小売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,393,200	566,457	2,959,657	322	-	2,959,980
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,393,200	566,457	2,959,657	322	-	2,959,980
セグメント利益又は損失( )	204,335	13,553	217,888	4,526	-	213,362

(注)1 「その他」の区分は、「ラピーヌ夢ファーム株式会社」にかかる金額であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売事業	小売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,303,302	623,159	2,926,462	2,074	-	2,928,536
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,303,302	623,159	2,926,462	2,074	-	2,928,536
セグメント利益又は損失( )	242,639	2,223	240,416	4,648	-	235,768

(注)1 「その他」の区分は、「ラピーヌ夢ファーム株式会社」にかかる金額であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	9円80銭	9円23銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	232,971	214,865
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	232,971	214,865
普通株式の期中平均株式数(千株)	23,770	23,267
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	9円74銭	9円14銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	130	230
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

当社は、平成26年6月4日開催の取締役会において、取締役、監査役及び執行役員に対するストックオプションとして発行する新株予約権の募集事項を決定し、当該新株予約権を引き受ける者の募集をすること等を決議し、平成26年6月20日に発行いたしました。

新株予約権の数(個)	102 (注)1
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数(株)	102,000 (注)2
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	平成26年6月21日～平成56年6月20日
新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金に関する事項	(1) 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果生じる1円未満の端数は、これを切り上げる。 (2) 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本準備金の額は、上記(1)記載の資本金等増加限度額から上記(1)に定める増加する資本金の額を減じた額とする。
新株予約権の行使の条件	(注)3
新株予約権の譲渡に関する事項	譲渡による新株予約権の取得については、当社取締役会の決議による承認を要する。

(注)1 各新株予約権の目的である株式の数(以下、「付与株式数」という。)は1,000株とする。

2 平成26年6月20日(以下、「割当日」という。)後、当社が当社普通株式の株式分割(当社普通株式の無償割当てを含む。以下、株式分割の記載につき同じ。)又は株式併合を行う場合には、次の算式により付与株式数の調整を行い、調整の結果生じる1株未満の端数は、これを切り捨てる。

調整後付与株式数 = 調整前付与株式数 × 株式分割又は株式併合の比率

また、割当日後、当社が合併又は会社分割を行う場合その他これらの場合に準じて付与株式数の調整を必要とする場合には、当社は合理的な範囲で付与株式数を適切に調整することができる。

3 (1) 新株予約権者は、行使可能な期間内において、当社及び当社子会社の取締役、監査役及び執行役員のいずれの地位をも喪失した日の翌日(以下、「権利行使開始日」という。)以降、新株予約権を行使することができる。ただし、この場合、権利行使開始日から5年を経過する日までの間に限る。

(2) 上記(1)にかかわらず、新株予約権者は、行使可能な期間内において、以下の又はに定める場合(ただし、については、組織再編における再編対象会社の新株予約権の交付の内容に関する決定方針に従って新株予約権者に再編対象会社の新株予約権が交付される旨が合併契約、株式交換契約若しくは株式移転計画において定められている場合を除く。)には、それぞれに定める期間内に限り新株予約権を行使できる。

新株予約権者が平成55年6月20日に至るまでに権利行使開始日を迎えなかった場合

平成55年6月21日から平成56年6月20日

当社が消滅会社となる合併契約承認の議案又は当社が完全子会社となる株式交換契約若しくは株式移転計画承認の議案につき株主総会で承認された場合(株主総会決議が不要な場合は、取締役会決議がなされた場合)

当該承認日の翌日から15日間

(3) 上記(1)及び(2)は、新株予約権を相続により承継した者については適用しない。

(4) 新株予約権者が新株予約権を放棄した場合には、当該新株予約権を行使することができない。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年7月8日

株式会社ラピーヌ

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 大西 康弘 印

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 千崎 育利 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ラピーヌの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ラピーヌ及び連結子会社の平成26年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。